



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 キックマン株式会社

コード番号 2801 URL <https://www.kikkoman.com/jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀切 功章

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 臼井 一起

TEL 03-5521-5811

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日

平成28年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	196,783	△3.0	16,944	0.0	16,435	3.0	16,013	52.7
28年3月期第2四半期	202,774	13.4	16,939	37.8	15,957	35.9	10,485	34.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △471百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 9,608百万円 (△39.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	82.91	—
28年3月期第2四半期	53.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	332,946	219,112	65.2
28年3月期	365,671	225,675	61.2

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 217,179百万円 28年3月期 223,684百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	32.00	32.00
29年3月期	—	16.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	393,000	△3.8	31,500	△3.4	30,000	△3.3	24,000	20.2	124.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料 6ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	210,383,202 株	28年3月期	210,383,202 株
29年3月期2Q	17,238,726 株	28年3月期	17,560,687 株
29年3月期2Q	193,148,585 株	28年3月期2Q	195,322,205 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

- (1) 第2四半期決算補足説明資料は、TDnetで本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しています。
- (2) 第2四半期決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 追加情報	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における世界経済は、米国や欧州で回復が続いているものの、中国をはじめとする新興国の減速で、全体としては成長がやや鈍化しております。一方、日本経済も、回復ペースは緩やかにとどまっております。

このような状況下における、当社グループの売上は、国内については、しょうゆが順調に推移し、飲料も前年同期を上回ったものの、食品、酒類が前年同期を下回り、食料品製造・販売事業全体では前年同期を下回りました。海外については、円高による為替換算の影響を受けましたが、食料品製造・販売及び食料品卸売事業ともに順調に推移し、現地通貨ベースで前年同期の売上を上回りました。

その結果、当第2四半期の連結業績は次の通りとなりました。

<連結業績>

(単位:百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第2四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除	
	27年4月1日～ 27年9月30日		28年4月1日～ 28年9月30日		金 額	%	売上 比差		金 額	%
	金 額	売上比	金 額	売上比						
売 上 高	202,774	100.0	196,783	100.0	△5,990	97.0	—	△14,636	8,645	104.3
営 業 利 益	16,939	8.4	16,944	8.6	5	100.0	0.2	△1,494	1,499	108.9
経 常 利 益	15,957	7.9	16,435	8.4	478	103.0	0.5	△1,331	1,810	111.3
親会社株主に帰属 する四半期純利益	10,485	5.2	16,013	8.1	5,528	152.7	2.9	△899	6,427	161.3
USD	121.50		106.43		△15.07					
EUR	134.60		119.12		△15.48					

<報告セグメント>

(単位:百万円, %)

区 分		前年同四半期		当第2四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除	
		27年4月1日～ 27年9月30日		28年4月1日～ 28年9月30日		金 額	%	売上 比差		金 額	%
		金 額	売上比	金 額	売上比						
国内 食料品製造 ・販売	売 上 高	84,628	100.0	84,180	100.0	△447	99.5	—	—	△447	99.5
	営業利益	3,529	4.2	4,652	5.5	1,122	131.8	1.3	—	1,122	131.8
国内 その他	売 上 高	10,413	100.0	10,756	100.0	342	103.3	—	—	342	103.3
	営業利益	851	8.2	682	6.3	△169	80.1	△1.9	—	△169	80.1
海外 食料品製造 ・販売	売 上 高	42,478	100.0	39,639	100.0	△2,839	93.3	—	△4,914	2,075	104.9
	営業利益	8,370	19.7	8,275	20.9	△94	98.9	1.2	△997	903	110.8
海外 食料品卸売	売 上 高	77,746	100.0	74,558	100.0	△3,187	95.9	—	△10,384	7,196	109.3
	営業利益	3,884	5.0	3,710	5.0	△173	95.5	△0.0	△399	226	105.8
調整額	売 上 高	△12,493	100.0	△12,351	100.0	141	—	—	662	△520	—
	営業利益	303	—	△375	—	△679	—	—	△96	△583	—
四半期連結 損益計算書 計上額	売 上 高	202,774	100.0	196,783	100.0	△5,990	97.0	—	△14,636	8,645	104.3
	営業利益	16,939	8.4	16,944	8.6	5	100.0	0.2	△1,494	1,499	108.9
USD	121.50		106.43		△15.07						
EUR	134.60		119.12		△15.48						

各事業別セグメントの業績の概要は次の通りであります。

【国内】

国内における売上の概要は次の通りであります。

(国内 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、つゆ・たれ・デルモンテ調味料等の食品部門、豆乳飲料・デルモンテ飲料等の飲料部門、みりん・ワイン等の酒類部門からなり、国内において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

しょうゆは、家庭用分野では「いつでも新鮮」シリーズが「新鮮な生しょうゆのおいしさ」、「鮮度維持」、「使いやすさ」という付加価値が市場に浸透し、商品ラインアップ、店頭販促やテレビ広告も強化した結果、順調に拡大を続けており、部門全体で数量、金額ともに前年同期を上回りました。

■食品部門

つゆ類は、家庭用分野では、「だししっかり減塩つゆ」等の高付加価値品が売上に寄与しましたが、主力の「本つゆ」のリニューアルにともなう価格体系変更による売上減もあり、つゆ類全体としては前年同期を下回りました。たれ類は、主力商品である「わが家は焼肉屋さん」で「ジワっと辛い旨辛だれ」等の商品ラインアップの追加もあり堅調に推移したことにより、たれ類全体として前年同期を上回りました。「うちのごはん」は、「和のごちそう煮」シリーズ等の新商品によるプロモーションやテレビ広告、店頭販促活動を行い、前年同期並みの売上となりました。デルモンテ調味料は、「リコピンリッチ」等の高付加価値品を中心に主力のトマトケチャップが伸長し、前年同期を上回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を下回りました。

■飲料部門

豆乳飲料は、健康志向の高まりを背景に、特定保健用食品の商品が伸長しました。また、飲用だけでなくレシピ本を活用し料理用として訴求する等、テレビや雑誌等の各メディアと連携を図りながら、市場拡大につながる販促活動を実施し、前年同期の売上を上回りました。

デルモンテ飲料は、ギフトや果汁飲料はキャンペーン等の販促活動により売上を伸ばし、主力のトマトジュースも回復しつつあるものの、野菜ジュースが前年同期の売上を下回り、デルモンテ飲料全体として前年同期の売上を下回りました。この結果、部門全体としては、前年同期の売上を上回りました。

■酒類部門

本みりんは、「米麴こだわり仕込み本みりん」、料理酒は「国産米こだわり仕込み料理の清酒」が引き続き順調に推移しましたが、一方でギフトや加工・業務用が振るわず、本みりん全体として前年同期を下回りました。国産ワインは、伊勢志摩サミットに採用された「甲州酵母の泡」や、「ソラリス」シリーズ等の日本ワインが引き続き順調に推移し、前年同期を上回りました。この結果部門全体としては前年同期の売上を下回りました。

以上の結果、国内 食料品製造・販売事業の売上高は841億8千万円（前年同期比99.5%）、営業利益は46億5千2百万円（前年同期比131.8%）と減収増益となりました。

(国内 その他事業)

当事業は、臨床診断薬・衛生検査薬・加工用酵素、ヒアルロン酸等の化成品等の製造・販売、不動産賃貸及び運送事業、グループ会社内への間接業務の提供等を行っております。

臨床診断薬や医薬品原料等が前年同期を上回り、部門全体として前年同期の売上を上回りました。

この結果、国内 その他事業の売上高は107億5千6百万円（前年同期比103.3%）、営業利益は6億8千2百万円（前年同期比80.1%）と、増収減益となりました。

【海外】

海外における売上の概要は次の通りであります。

(海外 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、デルモンテ部門、海外における健康食品等のその他食料品部門からなり、海外において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

北米市場においては、家庭用分野では、主力商品であるしょうゆに加え、しょうゆをベースとした調味料等の拡充に引き続き力を入れ、当社のブランド力を生かした事業展開を行ってまいりました。また、加工・業務用分野では顧客のニーズに合わせたきめ細かな対応を行い、両分野とも順調に推移いたしました。この結果、現地通貨ベースでは前年同期の売上を上回りました。

欧州市場においては、重点市場であるドイツ、フランス、オランダ等で堅調に売上を伸ばし、現地通貨ベースでは前年同期の売上を上回りました。

アジア・オセアニア市場においては、マレーシア等で売上を伸ばし、現地通貨ベースでは前年同期の売上を上回りました。

この結果、部門全体では為替換算の影響により、前年同期の売上を下回ったものの、現地通貨ベースでは前年同期の売上を上回りました。

■デルモンテ部門

当部門は、アジア・オセアニア地域で、フルーツ缶詰・コーン製品、トマトケチャップ等を製造・販売しております。

天候不順の影響による干ばつからフィリピン産フルーツ缶詰の供給が大幅に不足し、主要市場である香港、中国をはじめとする全市場に影響し、前年同期の売上を下回りました。

■その他食料品部門

当部門は、主に北米地域において、健康食品を製造・販売しております。

一般店舗ルート、医師ルート向けの売上が好調に推移したことから、前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、海外 食料品製造・販売事業の売上高は3 9 6 億 3 千 9 百万円（前年同期比93.3%）、営業利益は8 2 億 7 千 5 百万円（前年同期比98.9%）と、減収減益となりました。

(海外 食料品卸売事業)

当事業は、国内外において、東洋食品等を仕入れ、販売しております。

北米ではアジア系マーケットにとどまらず、ローカルマーケットへのさらなる浸透を進め、現地通貨ベースでは売上を伸ばしました。また、欧州、オセアニアでは引き続き市場が拡大しており、各地域で売上は順調に推移いたしました。この結果、現地通貨ベースでは前年同期の売上を上回りました。

この結果、海外 食料品卸売事業の売上高は7 4 5 億 5 千 8 百万円（前年同期比95.9%）、営業利益は3 7 億 1 千万円（前年同期比95.5%）と、減収減益となりました。

以上の結果、当第2四半期の連結業績は、売上高は1, 9 6 7 億 8 千 3 百万円（前年同期比97.0%）、営業利益は1 6 9 億 4 千 4 百万円（前年同期比100.0%）、経常利益は1 6 4 億 3 千 5 百万円（前年同期比103.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1 6 0 億 1 千 3 百万円（前年同期比152.7%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、1,471億3千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億3千7百万円増加いたしました。これは主に、仕掛品、現金及び預金が減少したものの、その他の流動資産が増加したことによるものであります。固定資産は、1,858億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ335億6千2百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券が減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、3,329億4千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ327億2千4百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、649億7千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ74億7百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債は、488億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ335億6千8百万円減少いたしました。これは主に、社債、長期借入金、繰延税金負債が減少したことによるものであります。

この結果、負債の部は、1,138億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ261億6千1百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の部は、2,191億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ65億6千3百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が増加したものの、為替換算調整勘定が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は65.2%（前連結会計年度末は61.2%）となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期における現金及び現金同等物の四半期末残高は、338億2千4百万円となりました。これは、前連結会計年度末に比べ現金及び現金同等物が13億8千3百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間における活動ごとのキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは98億8千9百万円の収入となり、前第2四半期連結累計期間に比べ62億4千4百万円収入減でありました。これは主に、仕入債務の増加などによる収入があったものの、法人税等の支払が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、179億4千7百万円の収入となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、271億4千7百万円の支出となりました。これは主に、社債の償還による支出、配当金の支払があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、為替レートの当初の想定からの変動、第2四半期までの業績の進捗状況を勘案し、売上高、経常利益について修正しております。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書(平成28年6月23日提出)により開示を行った内容から重要な変更はありません。

平成28年6月1日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想との差異は以下の通りです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	403,500	31,500	29,000	24,000	124.26
今回修正予想 (B)	393,000	31,500	30,000	24,000	124.26
増減額 (B-A)	△10,500	—	1,000	—	—
増減率 (%)	△2.6	—	3.4	—	—
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	408,372	32,598	31,029	19,964	102.67

※ 為替レートの前提
 前回発表予想 通期 USD 110.0円 EUR 125.0円
 今回発表予想 通期 USD 103.5円 EUR 115.8円

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

特定子会社以外の子会社の異動

連結(新規) JFC(S) PTE. LTD. (重要性の観点により非連結子会社から連結子会社へ異動)
 PT. KIKKOMAN AKUFOOD INDONESIA (新規設立)
 (除外) キッコーマンデイリー(株) (キッコーマン飲料(株)と合併)

持分法適用関連会社の異動

持分法(除外) 理研ビタミン(株)他15社 (株式の売却)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,260	35,156
受取手形及び売掛金	52,010	50,989
有価証券	269	240
商品及び製品	31,986	31,379
仕掛品	11,562	10,340
原材料及び貯蔵品	4,909	4,527
繰延税金資産	3,746	5,633
その他	6,034	9,309
貸倒引当金	△485	△444
流動資産合計	146,294	147,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	43,072	40,426
機械装置及び運搬具(純額)	33,645	31,558
土地	22,312	21,769
リース資産(純額)	57	87
建設仮勘定	2,046	2,352
その他(純額)	3,817	3,687
有形固定資産合計	104,951	99,880
無形固定資産		
のれん	11,275	10,498
その他	5,289	4,942
無形固定資産合計	16,564	15,441
投資その他の資産		
投資有価証券	86,109	59,331
長期貸付金	920	816
退職給付に係る資産	4,629	4,946
繰延税金資産	760	591
その他	6,206	5,560
貸倒引当金	△765	△753
投資その他の資産合計	97,860	70,492
固定資産合計	219,376	185,814
資産合計	365,671	332,946

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,279	19,358
短期借入金	6,871	15,474
リース債務	51	42
未払金	18,048	14,538
未払法人税等	2,975	2,362
賞与引当金	2,312	2,693
役員賞与引当金	105	51
その他	6,922	10,453
流動負債合計	57,567	64,975
固定負債		
社債	50,000	30,000
長期借入金	9,300	300
リース債務	58	64
繰延税金負債	9,728	6,010
役員退職慰労引当金	796	773
環境対策引当金	457	412
退職給付に係る負債	5,236	4,582
その他	6,849	6,715
固定負債合計	82,427	48,859
負債合計	139,995	113,834
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,599	11,599
資本剰余金	13,912	13,914
利益剰余金	208,035	217,909
自己株式	△30,833	△30,561
株主資本合計	202,713	212,861
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,728	17,993
繰延ヘッジ損益	△14	△35
為替換算調整勘定	5,203	△11,159
退職給付に係る調整累計額	△2,947	△2,479
その他の包括利益累計額合計	20,970	4,318
非支配株主持分	1,991	1,932
純資産合計	225,675	219,112
負債純資産合計	365,671	332,946

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	202,774	196,783
売上原価	121,712	117,594
売上総利益	81,062	79,189
販売費及び一般管理費	64,122	62,244
営業利益	16,939	16,944
営業外収益		
受取利息	58	62
受取配当金	462	1,003
持分法による投資利益	523	64
受取賃貸料	319	352
為替差益	235	5,398
その他	711	739
営業外収益合計	2,311	7,620
営業外費用		
支払利息	539	518
デリバティブ評価損	3	4,937
その他	2,751	2,673
営業外費用合計	3,294	8,129
経常利益	15,957	16,435
特別利益		
有形固定資産売却益	13	—
投資有価証券売却益	—	146
特別利益合計	13	146
特別損失		
固定資産除却損	158	—
関係会社株式売却損	—	377
ゴルフ会員権評価損	—	15
社債償還損	—	432
退職特別加算金	13	—
特別損失合計	172	825
税金等調整前四半期純利益	15,797	15,756
法人税等	5,158	△379
四半期純利益	10,639	16,135
非支配株主に帰属する四半期純利益	154	121
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,485	16,013

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	10,639	16,135
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	213	318
繰延ヘッジ損益	△27	△13
為替換算調整勘定	△487	△15,836
退職給付に係る調整額	138	458
持分法適用会社に対する持分相当額	△868	△1,533
その他の包括利益合計	△1,030	△16,606
四半期包括利益	9,608	△471
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,432	△491
非支配株主に係る四半期包括利益	175	19

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,797	15,756
減価償却費	5,871	5,952
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△60	△23
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△412	△253
受取利息及び受取配当金	△521	△1,065
支払利息	539	518
持分法による投資損益 (△は益)	△523	△64
有形固定資産売却損益 (△は益)	△27	△5
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	230
有形固定資産除却損	250	73
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,482	△1,661
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,712	△957
仕入債務の増減額 (△は減少)	△979	1,050
その他	3,994	2
小計	19,735	19,552
利息及び配当金の受取額	804	851
利息の支払額	△489	△682
法人税等の支払額	△3,916	△9,831
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,134	9,889
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,967	△5,200
有形固定資産の売却による収入	31	15
無形固定資産の取得による支出	△496	△305
投資有価証券の取得による支出	△619	△320
投資有価証券の売却による収入	—	23,347
事業譲受による支出	△1,872	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△75	—
貸付けによる支出	△363	△145
貸付金の回収による収入	196	95
その他	△331	461
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,499	17,947
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△24	△317
社債の償還による支出	—	△20,432
自己株式の取得による支出	△125	△54
配当金の支払額	△4,697	△6,182
非支配株主への配当金の支払額	△7	△105
その他	△73	△54
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,927	△27,147
現金及び現金同等物に係る換算差額	△154	△2,072
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	552	△1,383
現金及び現金同等物の期首残高	32,398	35,150
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	57
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△172	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,779	33,824

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	84,001	3,834	37,379	77,558	202,774	—	202,774
セグメント間の内部 売上高又は振替高	626	6,578	5,098	188	12,493	(12,493)	—
計	84,628	10,413	42,478	77,746	215,267	(12,493)	202,774
セグメント利益	3,529	851	8,370	3,884	16,635	303	16,939

(注) 1. セグメント利益の調整額 303百万円は、主に全社費用配賦差額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	83,491	4,118	34,778	74,395	196,783	—	196,783
セグメント間の内部 売上高又は振替高	689	6,637	4,861	163	12,351	(12,351)	—
計	84,180	10,756	39,639	74,558	209,135	(12,351)	196,783
セグメント利益	4,652	682	8,275	3,710	17,320	(375)	16,944

(注) 1. セグメント利益の調整額 △375百万円は、主に全社費用配賦差額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。